



標識トランプを活用した 段階的リハビリテーション課題の 開発と効果

桔梗ヶ原病院

松塚翔司, 佐藤理恵, 中山諒太, 深澤聡志, 園原和樹

2025年11月29日

第9回 日本安全運転医療学会学術集会



背景

『標識トランプ』とは、数字・マークに加えて標識が表記されたトランプである。

当院では、2023年から『標識トランプ』をリハビリテーション課題として使用している。

今回、段階的トランプリハビリテーション課題（以下、トランプリハ）について報告する。

トランプリハの目的と特徴

【目的】

自動車運転に必要な〈正確性〉，〈情報処理速度〉，〈マルチタスク〉の3要素を改善することである．

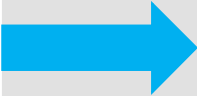
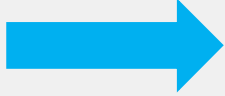
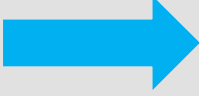


【特徴】

①難易度設定に基づき，段階的にリハビリテーションを展開することで，セラピストによらず患者に統一した訓練を提供できる．

②机上課題で課題提示の難しいマルチタスク訓練が可能である．

トランプリハの使用方法と期間

※計算課題とTMT課題は通常トランプを使用

	正確性	情報処理速度	マルチタスク
計算課題			
TMT課題			
標識名称			
スピード			
タッピング			
期間	OT・ST×20分/約7日	OT・ST×20分/約7日	OT・ST×20分/約7日

トランプリハの難易度設定 〈正確性①〉



【計算課題】

数字の1～9を使用する

足し算のみ



色で分岐



マークで分岐



(+ α) マークで分岐

トランプリハの難易度設定 〈正確性②〉



【TMT課題】

黒と赤の1～13使用
順番に指す



黒・赤1～13使用
黒1-赤2-黒3…



黒・赤1～13使用
赤1-黒1-黒2-赤2…

トランプリハの難易度設定 〈正確性③〉

2



車両通行止め

車両（自動車・自転車・原
動機付自転車・バイク）は
通行することができない

2

3



歩行者専用

歩行者のみ通行することが
できる（車両・自転車は通
行することができない）

3

J

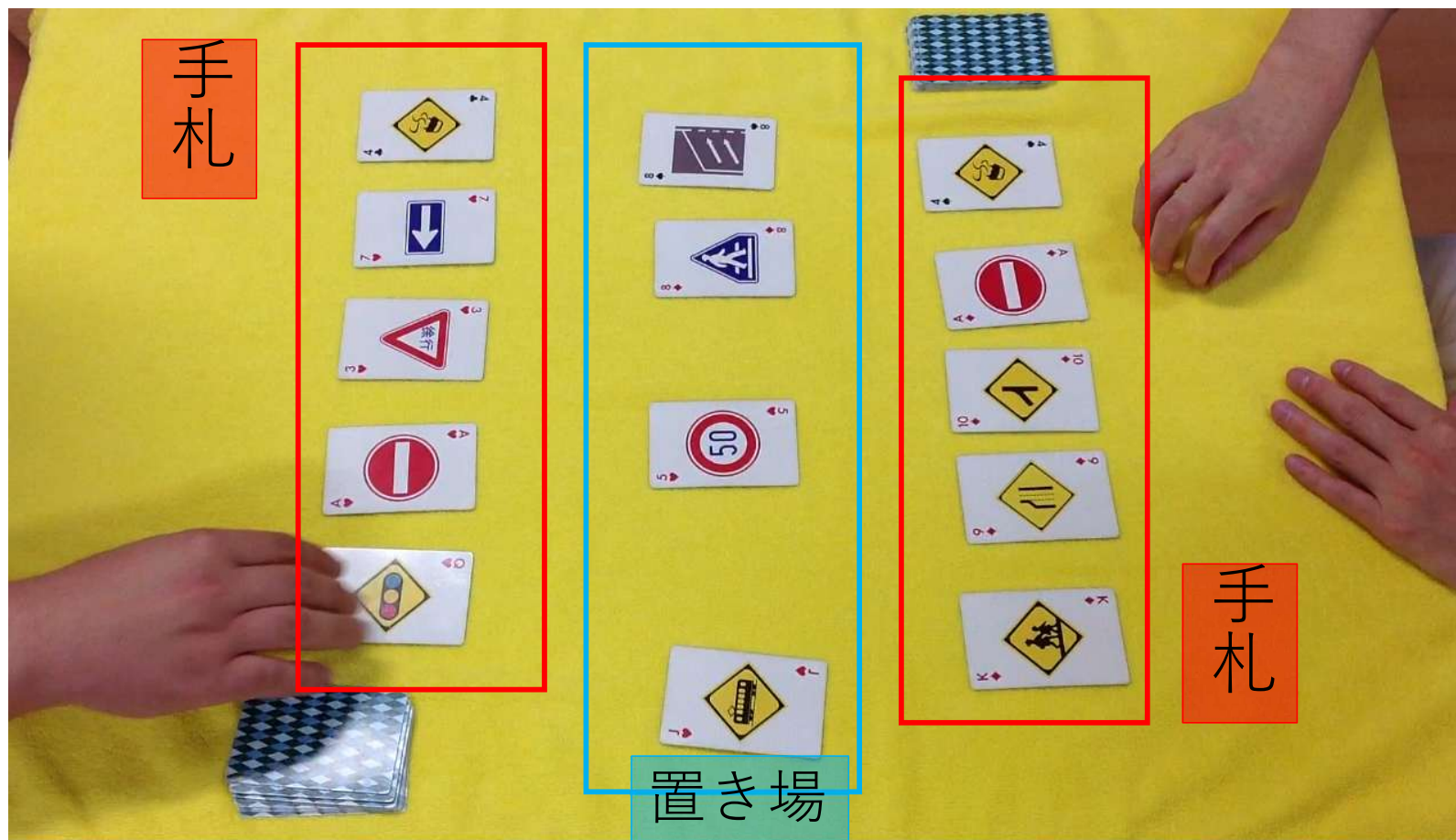


停止禁止部分

車両は標識に示された領域の
中で停止してはならない（警
察署・消防署などの緊急車両
の出入り口に設置される）

J

トランププリハの難易度設定 〈情報処理速度〉



【スピード】

赤・黒で分ける
置き場2・手札4



赤・黒混在
置き場2・手札4

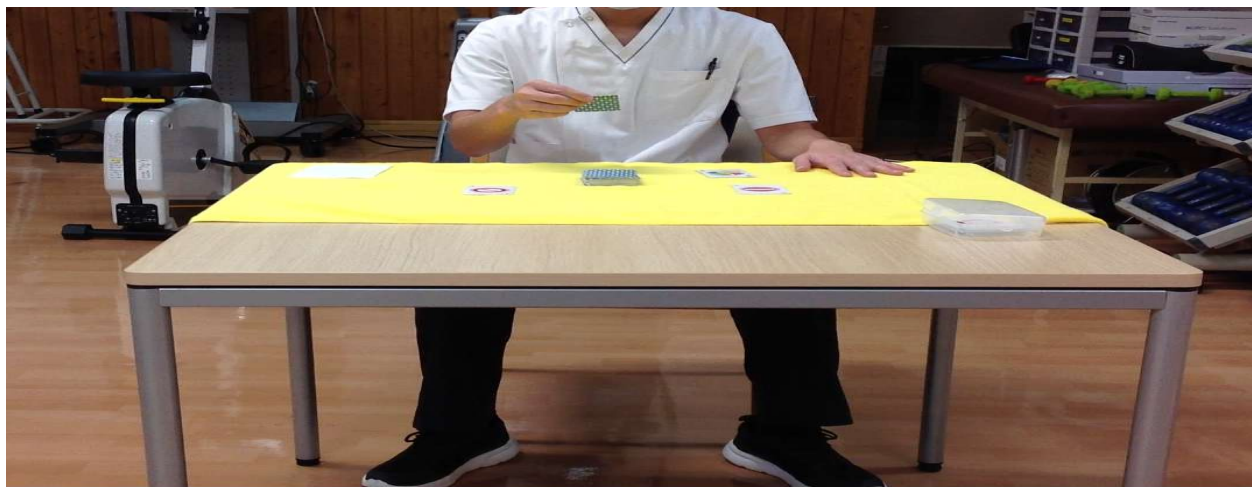


赤・黒混在
置き場3・手札4



赤・黒混在
置き場4・手札5

トランプリハの難易度設定 〈マルチタスク〉



【タッピング】

奇数・偶数に分ける
標識の名称・意味を言う



奇数・偶数に分ける
標識の名称・意味を言う
色タッピング



奇数・偶数に分ける
標識の名称・意味を言う
マークタッピング

結果と考察

対象者への実施結果では、全例が最終段階まで到達可能であり、難易度設定の妥当性が示唆された。

結語

トランプリハは、運転に必要な注意機能や処理能力の向上が期待でき、運転リハビリテーションの実施期間の短縮につながる可能性がある。